

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### 梱包明細表

①鋳物用折戸部品B

名称	員数
折戸ヒンジ	4
ヒンジ抜け止めネジ φ6-M4×6特サラ	4
折戸シャフト	2
ヒンジキャップ	2
中間落とし棒ホルダー	1
中間落とし棒	1
中間落とし棒受け皿	1

①鋳物用折戸部品B つづき

名称	員数
ヒンジワッシャー	4
折戸ヒンジ取付ボルト M6×12	8
中間落とし棒ホルダー取付ネジ M5×22ナベ小ネジ	2
中間落とし棒ホルダー取付S・W M5用	2
中間落とし棒ぬけ止めネジ M4×8ナベ	1
取付説明書	1

②鋳物用折戸キャスターA (※1)

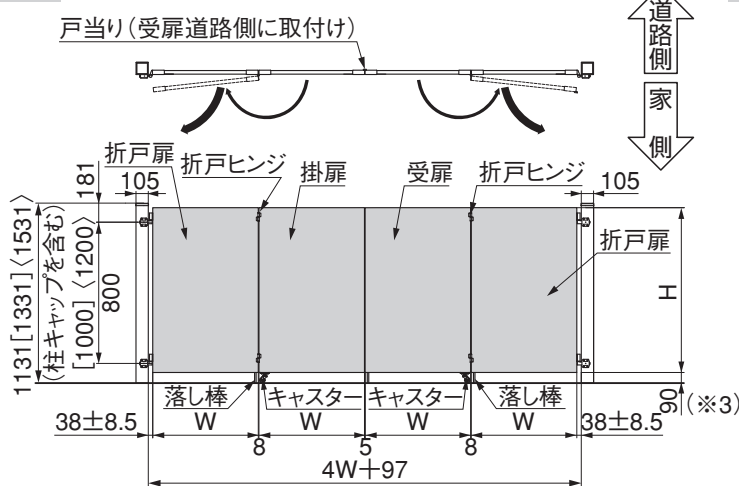
名称	員数
キャスター取付金具	1
キャスター	1
キャスター取付ナット U1/2用	2
キャスター取付金具取付ボルト M6×12六角ボルト	2
ステムカバー	1

機種によりオプションです。(※1)

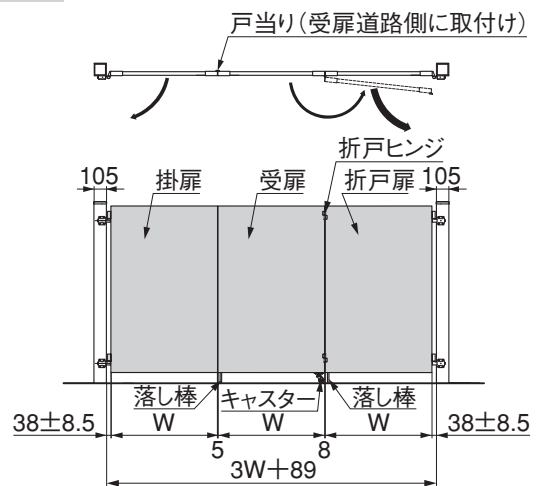
## 1. 基本寸法図および各部の名称

※図は、右勝手の内観図です。[ ]内寸法はH12、  
〈 〉内寸法はH14を示します。

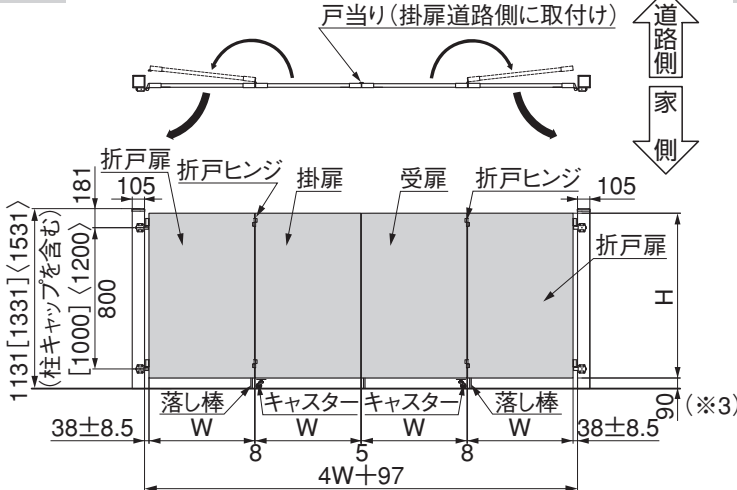
1-1 4枚折戸 内-内開き仕様 (※2)



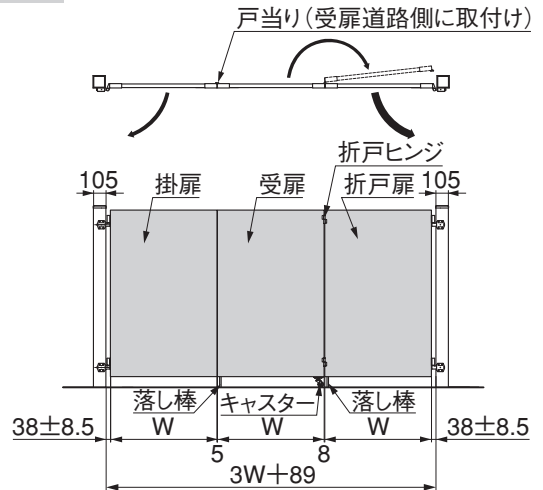
1-2 3枚折戸 内-内開き仕様 (※2)



1-3 4枚折戸 内-外開き仕様



1-4 3枚折戸 内-外開き仕様

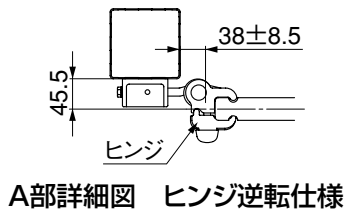
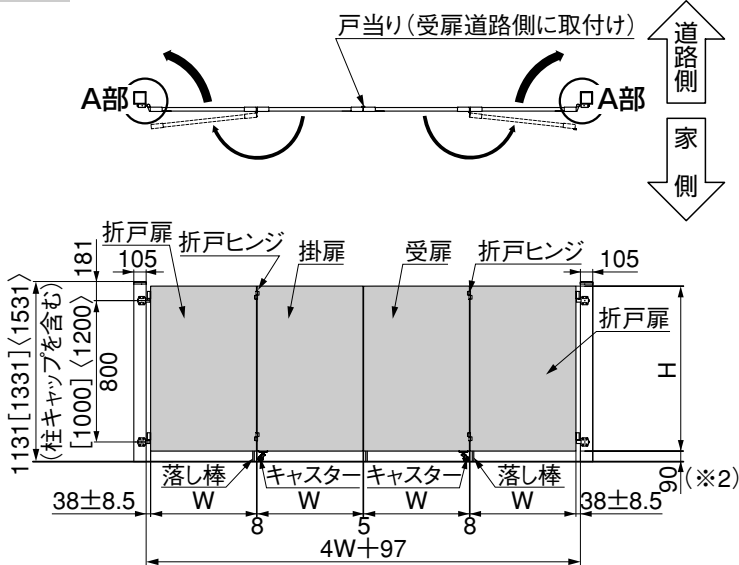


<注意>

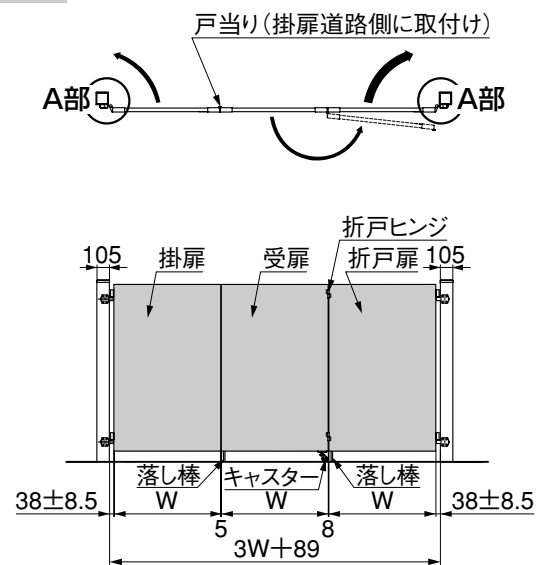
- キャストナB型の内-内開き仕様はできません (※2)。
- 地面から門扉下面の距離は、90mmを守ってください (※3)。

# 1. つづき

## 1-5 4枚折戸 外-内開き仕様(※1)



## 1-6 3枚折戸 外-内開き仕様(※1)

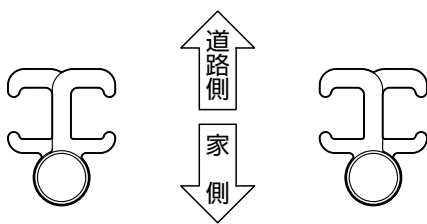


### <注意>

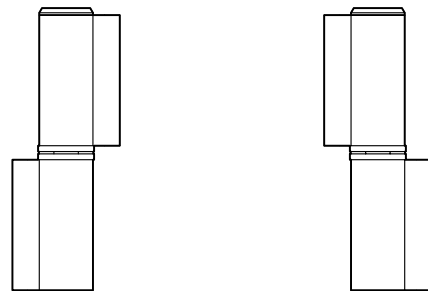
- キャスティナB型の外-内開き仕様はできません(※1)。
- 地面から門扉下面の距離は、90mmを守ってください(※2)。

## 1-7 折戸ヒンジ収まり図

### (1) 内-内開き仕様 外-内開き仕様

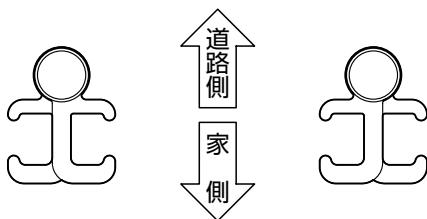


上から見た図

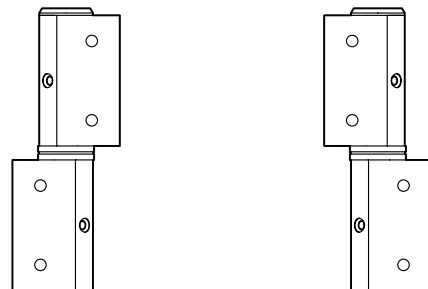


家側から見た図

### (2) 内-外開き仕様

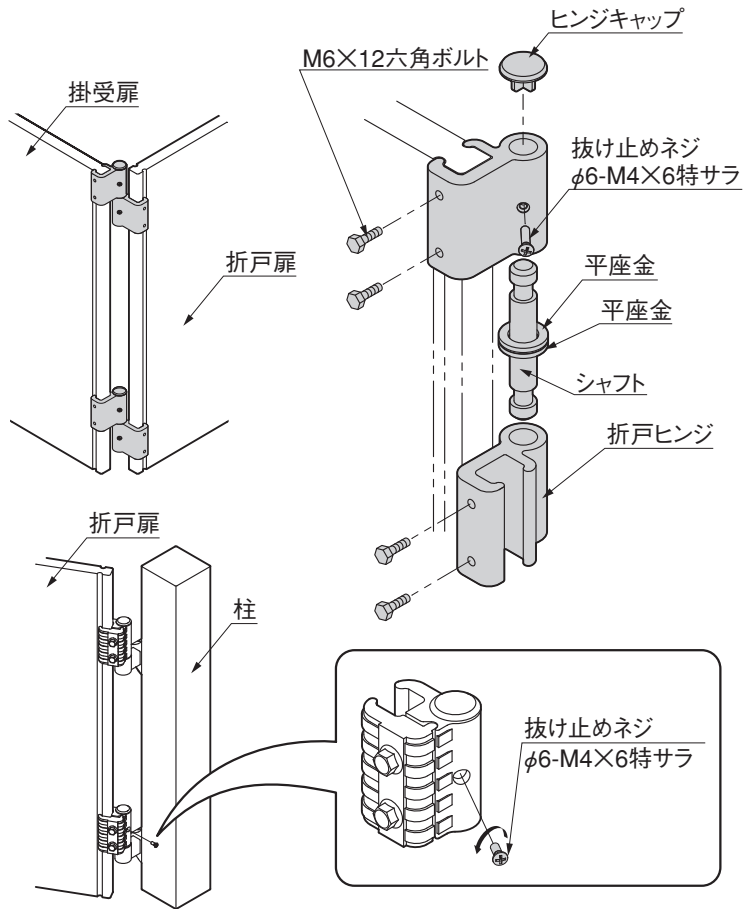


上から見た図



家側から見た図

## 2. 折戸ヒンジの取付け

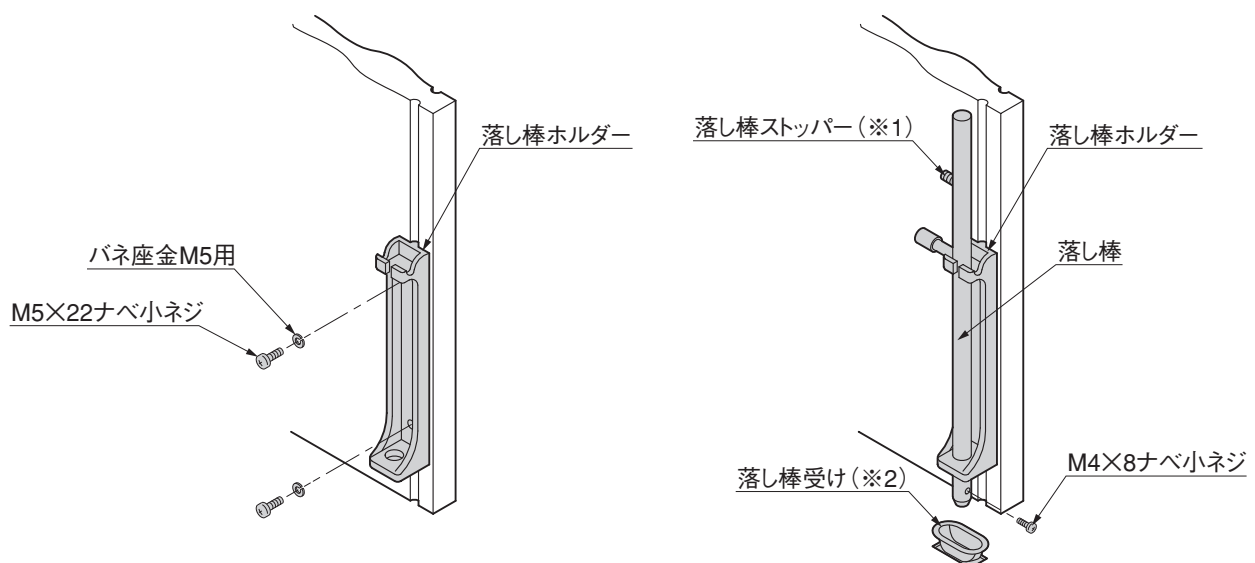


- ① 折戸扉の吊元部に折戸ヒンジを取付けてください。
- ② シャフトの上下に平座金を入れ折戸ヒンジに差込んでください。
- ③ 掛・受扉の吊元部に折戸ヒンジを取付けてください。
- ④ 抜け止めネジを取付けてください。

### <注意>

- 柱側ヒンジ(下)の抜け止めネジは、折戸の場合、必ず取外してください。水勾配によってキャスターが上下しますので取外せずに折りたたむと扉本体や取付部品が破損するおそれがあります。
- 門扉開閉時に折戸ヒンジで音なりが発生した場合、一度門扉を取外し、シャフトおよび折戸ヒンジの孔内のゴミなどを取除いたあと、市販の潤滑用グリースをシャフトおよび折戸ヒンジの孔に十分塗布し、再び門扉を取付けてください。

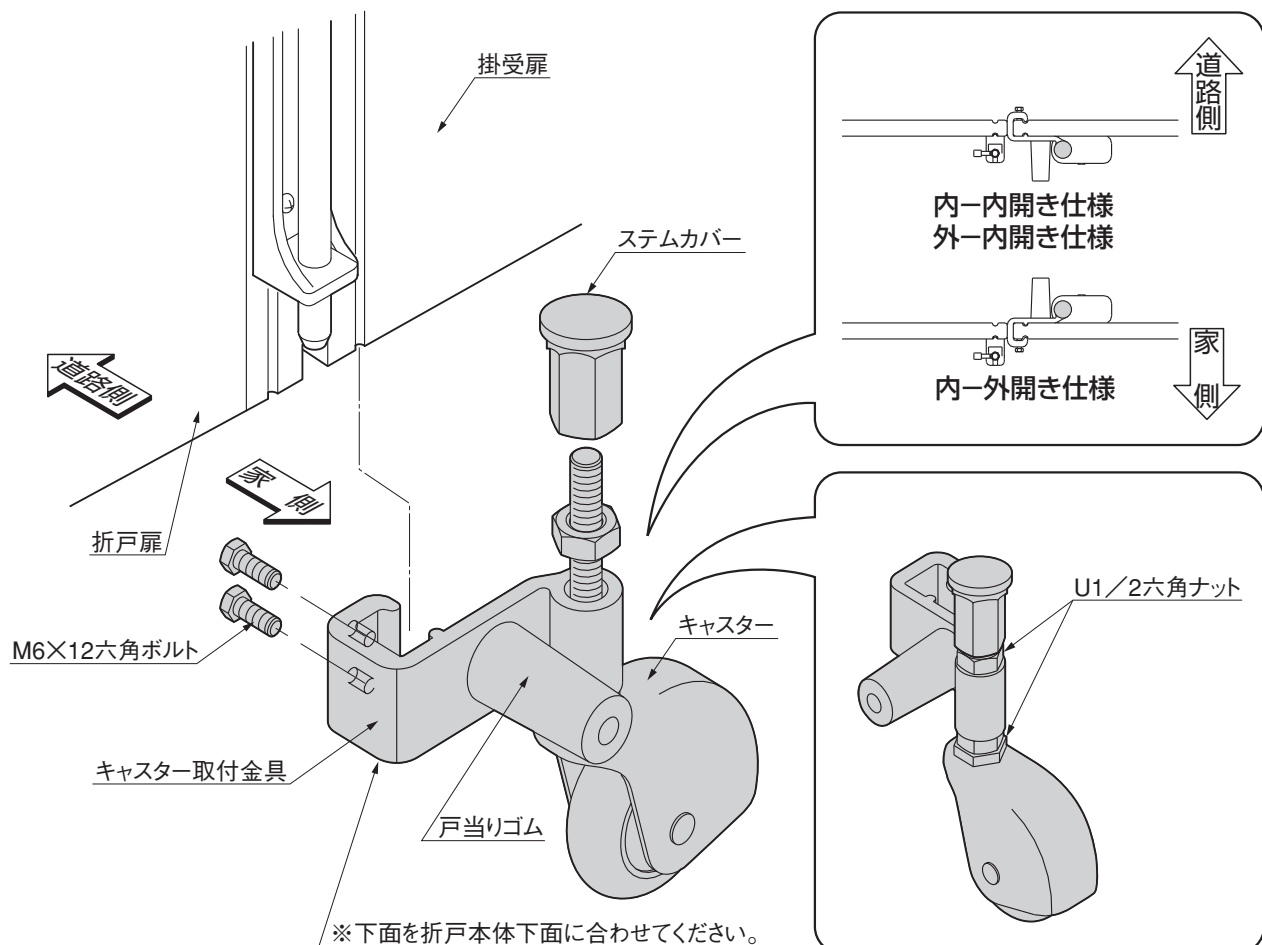
## 3. 中間落とし棒の取付け



### <注意>

- 扉合掌部の落とし棒については、錠部品セットの取付説明書を参照してください。
- 落とし棒ストッパーは容易に道路側から落とし棒が上がらないようにするものです。現場によって落とし棒ホルダーと干渉する場合は、吊元のヒンジをスライドし門扉を上下させるかストッパーを外してください。(※1)
- 落とし棒受けは門扉を調整したあとに設置してください。(※2)

## 4. キャスターの取付け



- ① キャスター取付金具にU1/2六角ナット2コを使って、キャスターを取付けてください。
- ② ステムカバーを取付けてください。
- ③ 門扉本体にキャスター取付金具をM6×12六角ボルト(2本)で取付けてください。

### <注意>

- キャスターの走行範囲内の地面は、キャスターの作動を妨げないように、モルタルのたたきを施工してください。
- たたきにはキャスターの走行範囲内の高低差を15mm以上つけないでください。勾配が大きすぎると門扉の調整金具が破損するおそれがあり、危険です。

### 工事店様へ

- 仕上げ後、本体に付いているモルタルを完全に拭き取ってください。  
硬化前後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

**A372**

KVA574250G  
200209A\_1006  
201607H\_1049